

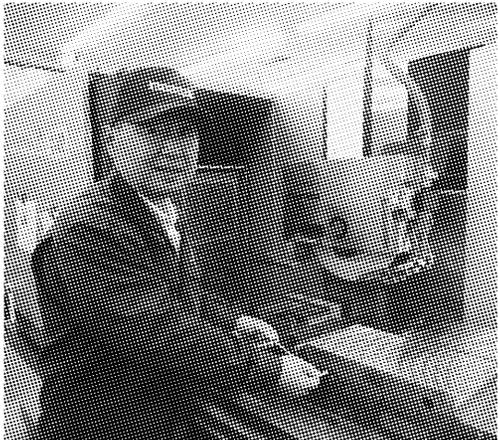
レジェンドに聞く

ヒーハリスト

やるなら前向きに楽しく

顧問

菜花 有三氏



研磨・研削加工ができることがヒーハリストの強みと語る菜花顧問

スなどをするようにしている。話を良く聞くと先輩・後輩に関わらず勉強になることも多く、新たな発見や自分自身も柔軟な対応ができるようになる。また、座学も大切だと感じる。個人のスキルは経験を積み上げ上がるが、併せて書籍などを使って学ぶことで技術も磨け、後輩へ技術の継承もできる。企業の繁栄にもつながるはずだ」

ヒーハリストは、円筒直動軸受を主力事業に、精密加工部品やレール用部品を手がけるメーカー。設立以来、高い技術力が強みの同社で「ミスターヒーハリスト」とも呼ばれるのが、製造から営業まで幅広く事業に関わってきた勤続48年の菜花有三顧問だ。

□ □

「ヒーハリスト初の新卒社員だそうですね。」

仕事は。

「これまでも手がけた事も楽しみながら進めていった」

「後進の育成で大事にしていくことは。」

「川越・宮城かれん」

「茨城県の工業高校

研削・センターレス研

き、その上でアドバイ

76年(昭51)ヒーハリスト精工(現ヒーハリスト)入社。製造や営業を経験し、17年取締役、24年顧問。茨城県出身、67歳。

「やはり何事も、やるならば気持ちよく前向きに、柔軟性を持って取り組むのが大事だと思う。社への恩義も胸に今後も顧問として、企業のためになるアドバイスを技術継承をしていきたい」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」

「川越・宮城かれん」